

施 策 評 価 シ ト (平成29年度実績評価)

◎ 施策の基本情報

総合計画中期プラン	政策No.	3-4	政策名	スポーツの振興	政策の目指す姿	いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しみ、元気に活動しています	施策主管課	スポーツ振興課	施策主管課長名	菊池郁哉
	施策No.	1	施策名	生涯スポーツの推進	施策の目指す姿	生涯にわたり気軽にスポーツを行っています	関係課名			
	・運動をほとんど行っていない市民の割合が39.2%（市民アンケート）であり、依然高い傾向にあります。 ・老朽化が進んでいるスポーツ施設があります。									

◎ 前年度の評価の振り返り

(前年度評価時の今後の方向性)

- ・市の人口が減少傾向にあり早起きマラソンに参加する絶対数が減少していることから、参加者の中心である児童・生徒のほかに一般市民に対して広く参加呼びかけを行うなど、地域ぐるみで取り組める方策を検討する。

(反映状況)

- ・これまでと同様に市広報紙やホームページへの掲載、児童・生徒へのチラシによる周知を行ったほか、老人クラブや振興センターあてにチラシを送付し、広くPRを実施した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1)生涯スポーツ活動の推進

- 早起きマラソンの推進
 - ・5月7日から10月9日までの156日間、市内67カ所を会場に開催
- 多様なスポーツ教室やスポーツイベントの開催
 - ・花巻市スポーツ推進委員協議会、花巻市体育協会が実施する多様なスポーツ教室開催に対する支援
 - ・花巻市スポーツ少年団本部の活動に対する支援
- 地域のスポーツ指導者等の養成、派遣
 - ・スポーツ推進委員を県内外の研修会、市内各地域のスポーツ教室等へ派遣
- ニューススポーツの普及
 - ・ニューススポーツ交流大会、各地域でのニュースポーツ教室の開催に対する支援
- スポーツ施設の整備、維持修繕による長寿命化の推進
 - ・各スポーツ施設の維持管理

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
地域で行うスポーツ教室や早起きマラソン等の参加者数	地域における早起きマラソンやスポーツ教室などの生涯スポーツに取り組む市民の状況を示す指標	市スポーツ振興課が把握する以下の合計値 (1)市スポーツ指導員、スポーツ推進委員、地域スポーツ普及員が講師となって実施されるスポーツ教室等の参加者数 (2)早起きマラソンの参加者数 (3)市体育協会が実施するスポーツ教室の参加者数 (4)スポーツ少年団本部への登録者数	千人	目標値	220	225	230	191	191	191
				実績値	216	191	174	173		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	■成果指標「地域で行うスポーツ教室や早起きマラソン等の参加者数」…【達成度b】 市スポーツ推進委員が指導するスポーツ教室や、市体育協会が主催するスポーツ教室の参加者数は、市広報紙やホームページでのPR活動、チラシの配布などにより、市民に定着してきたものと考えられ、増加若しくはほぼ横ばいの状況にある。早起きマラソンの参加者数は平成28年度と比較すると2.19%減少しているが、その対象者となる児童・生徒数を見ると平成28年度と比較し2.49%減少していることから、児童・生徒の減少が参加者数に影響しているものと考えられる。

4 施策を構成する事務事業一覧

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)
なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

- ・スポーツ教室については、内容の充実により更なる参加者の増加が見込まれる。
 - ・早起きマラソンについては、会場のほとんどが花巻地域であり、他地域での事業推進が必要である。

(新たに取り組むべき事業はないか)

- なし

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・スポーツ教室の開催に当たっては、市民ニーズを捉えた内容での開催が必要である。
 - ・早起きマラソンは花巻地域において開始した事業で、大迫地域、石鳥谷地域、東和地域での認知度が低く、これらの地域での普及が必要である。

(今後の方向性)

- ・スポーツ教室については、参加者からの聞き取りやアンケートなどにより需要を把握し、ニーズの低い教室の廃止や新しい教室の開催など見直しを進める。
 - ・早起きマラソンの実施に当たっては、市広報紙や市ホームページ、小中学校、地域振興センター等へのPRを行い事業への参加を広く呼び掛けってきたところであるが、これらの活動を継続とともに大迫地域、石鳥谷地域、東和地域での普及活動についての検討を進め、市域全体での事業展開を進める。